

議会ICTの成果等について 【議会改革検討会議報告(平成27年)における議会ICTに係る基本的な視点に基づく整理】

議会ICT 基本的な視点に基づく成果と今後の課題 (注)○：成果 ●課題

<p>(1)「情報収集機能及び情報共有機能の一層の向上」並びに(2)「関係機関との情報受伝達機能の一層の向上」</p> <p>○ タブレットの導入(LTE回線) 平成28年9月1日より全議員及び関係職員に「サーフェス3」を貸与 ※議場・委員会室等への貸与タブレットの持込を可能に</p> <p>○ 議会クラウドの導入 平成28年9月1日より全議員及び関係職員にクラウドソフトとして「サイドブックス」を導入 現在議会クラウドに格納している資料(平成29年5月15日議懇了承) ・議案、委員会資料、委員会報告資料、議場配付資料等の会議資料、議会への報告、通知等 ・法令等に基づく諸報告(経営状況説明書、監査報告、債権放棄報告等) ・通知(招集通知、委員会開催通知)のうち、議会日程で予定されているもの ・質問項目 ・本会議録、予算委員会記録(H30年度から実施予定)</p> <p>○ 議員安否確認システムの導入 試行利用を順次拡大し、現在、本会議、委員会などすべての議会審議の場において利用中。 議員の安否確認及び被災状況把握についてICTを用いた専用サービスを平成30年度から導入予定。</p>	
<p>● 議会クラウド及びタブレットの一層の活用</p>	<p>・「サーフェス3」は、操作しにくい、画面が小さく見にくい、画面が固まる頻度が高い等の意見。 ・議会局が議会内で、紙ベースで配付している刊行物や資料等を、順次クラウドへの保存に。 ・執行機関との情報共有のためクラウドへのアクセス環境の改善 ・マウスの議場・委員会室等への持ち込みに関する検討</p>
<p>(3)「議会審議の一層の充実及び円滑化」</p> <p>○ 平成28年11月から、議場にスクリーンを設置し、平成28年第3回定例会から、試行を開始し、その後本格運用。 (サーフェス3を利用した、スクリーンへの資料提示、また、資料を議会クラウドへ保存することによる情報共有)</p>	
<p>● タブレットからの資料閲覧等について</p> <p>● 充実及び円滑化のための協議について</p>	<p>委員会調査における活用 議会審議の一層の充実及び円滑化に資するための継続的な、協議検討について</p>
<p>(4)「より開かれた議会に資するための広報・広聴機能の一層の向上」</p> <p>○ 委員会のインターネット中継の拡大 平成29年第3回定例会から予算委員会及び決算特別委員会の試行実施を開始</p> <p>○ 会議記録等のインターネット公開対象の大幅拡大 平成29年4月～ 議会運営委員会並びに、会議規則別表(第113条の2関係)に掲げる会議(例：団長会ほか)、委員会県内県外調査報告書</p> <p>○ 本会議の代表質問について手話の配信開始 平成28年第2回定例会～</p> <p>○ 新庁舎1階に議会情報プラザを開設 平成29年3月～</p>	
<p>● 全委員会のインターネット中継開始</p> <p>● 音声文字化システムの導入</p> <p>● 会議資料公開の迅速化</p>	<p>平成30年第3回定例会～ 議会運営委員会、常任委員会及び特別委員会の生中継等の開始に伴う運用上の課題対応 文字化の精度の向上、聴覚障がい者への情報保証だけでなく、迅速な議事録作成に向けた補助手段としての活用 各会議開会までに資料をインターネットに公開</p>
<p>(5)「ICT活用スキル向上のための取組み」及び(6)「ICT活用のための継続的な取組み」並びに(7)「議会局の事務の効率性の向上及びコスト縮減」</p> <p>○ 議会局における紙の使用量減少実績 2割減(約25万枚減)(平成27年度→平成28年度比)</p> <p>○ 議会審議における紙の使用量の5割削減※別紙参照(平成29年第2回定例会)</p>	
<p>● 利用スキルの一層の向上の取組</p> <p>● 情報リテラシーの向上の取組</p>	<p>ポイントを絞った活用研修の実施等(WindowsやSideBooksの利活用等) 情報セキュリティ能力の向上(フリーソフト、フリーサーバーへの対応等)</p>